

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校
巡回校：日野市立豊田小学校
令和4年 7月号

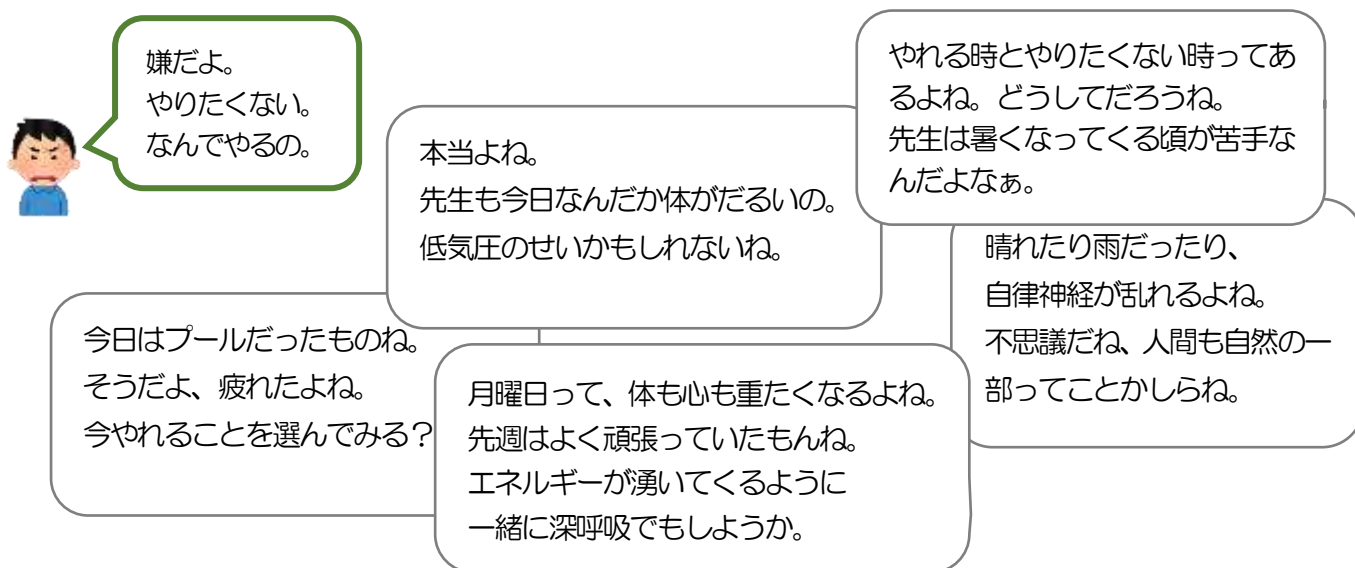
子供が自分を責めないために



1学期も残り少なくなってきました。1学期前半は、慣れない環境の中でも、「頑張っているよ！見て！」という様子が見られました。

ところが、環境に慣れてきたちょうど今、頑張った分の疲れがいろいろな形で表出します。「この間まで頑張ってたのに。」「できていたのに。」「やればできるのに。」ついそう声を掛けたくくなりますよね。ここで注意が必要です。大人からのこの声掛けは、“僕らの能力や努力が足りないからだ。”と子供は自分を責めてしまうのだそうです。

では、できていたことができない時、分きたい意欲がいつもより湧かない時、子供が自分を責めない方法はあるのでしょうか。ステップ教室では、ネガティブな表現をした子供に、体調や環境の変化に敏感な子供たちだからこそ、周りの環境から受ける心身の変化の話をすることがあります。



子供が自分自身ではなく、自分の周りで起きていることへ視点を向ける手法です。これは、できない自分に落ち込んでいきそうな子が、自分を責めないで挑戦するためのエネルギーを溜めていってほしい、という願いです。さらに、今の自分の心や体の調子について向き合うことや、自分のパターンを知り気持ちを軽くする考え方を身に付けていく、大切な自己理解の一つでもあるのです。ポイントは「子供の上手いいかない状況に対して、マイナス方向に反応せず、否定的なことは言わない。共感しながら信頼して待つ。」ということです。ぜひ、ご家庭でお子さんへの声掛けの参考にしてみてください。

～6月のフレンドタイム～ (小集団学習)



【気持ちのわっかとり】

椅子取りゲーム方式の活動です。人数より少ないわっかに音楽が止まったら入ります。入れなかった子は様々な気持ちを書いてある椅子の中から自分の気持ちを選んで座り、さらにその言葉の言うと再びゲームに参加できます。「いつもこういうゲームをすると、怒って嫌になってしまうことが多い。」そと話していた子が、「今日は、気持ちを選んで言ってみたら、またゲームがしたいと思えてうれしかった。」と話しました。もやもやイライラを、気持ちの言葉で整理し、口に出してみることで、気持ちを切り替えられることを、活動を通して体験しました。

【ふわふわ言葉ちくちく言葉】

まず教員による劇を見て、表情を見ながら“ちくちく言葉”を言われた人の気持ちや、みんなが言われて嬉しくなる“ふわふわ言葉”を考えました。

次に「風船バレー」「フープリレー」「玉入れ」「縄跳びチャレンジ」の活動（グループによって活動が違います）で、実際にふわふわ言葉を意識して使いました。「頑張れ!」「ナイス!」「その調子」「おいしい!」と応援のふわふわ言葉が飛び交っていました。

「言われて嬉しかった。」「言ってみたら、自分もいい気持ちになった。」「なんかいつもよりみんなが楽しそうだった。」など、言葉のもつ力についてみんなで考えることができました。

～お知らせ～

☆三者面談の日程調査を提出していただきまして、ありがとうございました。面談の日時については、決まり次第、配布いたします。場所は、在籍学級の教室となります。よろしくお願いいたします。

1学期の指導終了日・・・7月 4日（月）

2学期の指導開始日・・・8月29日（月）

夏休みは健康に気を付けてお過ごしください。2学期に元気いっぱいの子供たちに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様には、1学期の間、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。2学期もよろしくお願いいたします。